


テント設営	項目例	療育効果
	・ キャンプイベントに参加する	協調性やコミュニケーション能力
	・ テント設営に必要な用具を覚える	社会性、自立心、計画性、実行力の向上
	・ 協力してテントを設営する	食への関心、生活スキルの向上
	・ 後片付けができる	責任感、達成感の向上
	・ みんなと協力して楽しめた	友情の構築

発達療育におけるテント設営の具体的な療育効果と注意点

発達療育におけるテント設営は、近年注目を集めている療育方法の一つです。

具体的な療育効果

【**集中力向上**】テントは、周囲の視覚や聴覚などの刺激を遮断し、集中しやすい環境を作ることができます。机や椅子を設置することで、勉強や読書などの活動に集中しやすくなります。

【**落ち着きのある空間**】テントは、安心感を与え、落ち着ける空間を作ることができます。特に、感覚過敏や不安感がある子どもにとってテントはリラックスできる場所となります。

【**創造性や想像力を育む**】テントは、子どもにとって秘密基地のような特別な空間となります。テントの中で自由に遊んだり、想像力を働かせたりすることで、創造性や想像力を育むことができます。

【**自立心を育む**】テントの中で、自分で着替えをしたり、荷物を整理したりすることで、自立心を育むことができます。


【**社会性を育む**】複数人でテントに入ったり、一緒に遊んだりすることで、社会性を育むことができます。

注意点

換気を十分に行う：テント内は、熱がこもりやすいため、換気を十分に行う必要があります。

定期的に様子を見る：テントの中で、子どもが一人で遊んでいる場合は、定期的に様子を見るようにしましょう。

子どもの意思を尊重する：子どもがテントに入らないことを嫌がっている場合は、無理強いしないようにしましょう。

野外炊事	項目例	療育効果
	・ テーブルマナー 食前・食後の挨拶	社会性、自立心、計画性、実行力の向上
	・ 落ち付いて座って食べる	協調性、実行力の向上
	・ 後片付けができる	忍耐力、集中力の向上、行動の抑制
	・ 食材の買い出し	責任感、達成感の向上
	・ 調味料を覚える	衛生週間の向上、五感の統合を促進する
	・ 料理の工程を覚える	

【五感を刺激し、感覚統合を促進する】 クッキングは、視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の五感を刺激する活動です。

様々な食材に触れ、混ぜたり切ったりする動作を通して、感覚統合能力を向上させることができます。

- ・ 視覚: 色鮮やかな食材や調理過程を観察することで、視覚刺激を受けます。
- ・ 聴覚: 食材を切る音や調理器具の音を聞くことで、聴覚刺激を受けます。
- ・ 嗅覚: 食材の香りや調理中の香りを嗅ぐことで、嗅覚刺激を受けます。
- ・ 触覚: 食材を触ったり、調理器具を扱ったりすることで、触覚刺激を受けます。
- ・ 味覚: 自分で作った料理を味わうことで、味覚刺激を受けます。

【集中力や計画性を養う】 レシピを見ながら手順通りに料理を進めることで、集中力や計画性を養うことができます。

また、時間内に完成させるためには、効率的に作業を進める必要があり、タイムマネジメント能力も向上します。


【創造性や問題解決能力を育む】 食材や調味料を組み合わせ、自分だけのオリジナル料理を作ること、創造性や問題解決能力を育むことができます。また、失敗から学ぶ経験を通して、柔軟性や忍耐力も身につきます。

【達成感や自信を高める】 自分で料理を完成させ、家族や友人に食べてもらうことで、達成感や自信を高めることができます。

【協調性やコミュニケーション能力】 複数人で協力して料理をすることで、協調性やコミュニケーション能力を養うことができます。

また、食事の場を通して、家族や友人とのコミュニケーションを深めることもできます。

【食育の場として】 クッキングは、子供たちに食への興味を高め、健康的な食習慣を身につけるための食育の場としても有効です。

ロープ結び	項目例	療育効果
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 の字結び ・ 引きとけ結び ・ 本結び ・ ふた結び ・ もやい結び 	集中力・忍耐力の向上 達成感・自信の向上 空間認知能力の向上 問題解決能力の向上 計画性・実行力の向上 手指の巧緻性の向上

紐を結ぶことは、単純な作業に見えますが、実は子供たちの様々な発達領域に療育効果をもたらす可能性があります。

【細かい運動能力の向上】 紐を結ぶには、指先を巧みに使って紐を操る細かい運動能力が必要です。

この能力は、鉛筆を持つ、字を書く、ボタンを留めるなどの日常生活動作にも必要です。

【集中力や忍耐力の向上】 紐を結ぶには、手順を覚え、最後まで集中して取り組む集中力や忍耐力が必要です。

【達成感や自信を高める】 紐を結ぶという課題を克服することで、達成感や自信を高める。これは、自己肯定感の向上にもつながります。


【視覚認知能力の向上】 紐を結ぶには、紐の色や形、位置などを認識する視覚認知能力が必要です。

【問題解決能力の向上】 紐が結べない場合、原因を考え、解決策を見つける問題解決能力が必要になります。

【協調性やコミュニケーション能力の向上】 複数人で協力して紐を結ぶことで、協調性やコミュニケーション能力を養うことができます。

紐を結ぶことは、子供たちの様々な発達領域に療育効果をもたらす可能性があります。

子供の年齢や能力に合った練習方法を選ぶことが重要です。


ハイキング	項目例	療育効果
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出発前の忘れ物チェック ・ 見たものをスケッチする ・ 集団行動ができる 	注意力、記憶力、生活スキルの向上 危険察知能力 観察力、表現力、創造力、集中力の向上

	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地まで歩く 	社会性、コミュニケーション能力の向上 達成感の向上 運動能力、忍耐力、自己肯定感の向上
---	--	---

ハイキングは、子供たちの様々な発達領域に療育効果をもたらす可能性があります。

- 【身体活動の促進】** ハイキングは、子供たちが自然の中で体を動かすことができる有酸素運動です。歩くことで、心肺機能や筋力持久力を向上させることができます。また、バランス感覚や協調性も養うことができます。
- 【感覚統合の促進】** ハイキングは、視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の五感を刺激する活動です。様々な自然環境に触れ、体を動かすことで、感覚統合能力を向上させることができます。
- 【集中力や忍耐力の向上】** 長時間歩き続ける必要があるため、集中力や忍耐力を向上させることができます。
 また、目標を達成するために努力することの大切さを学ぶことができます。
- 【達成感や自信を高める】** ハイキングを完歩することで、達成感や自信を高めることができます。自己肯定感の向上にもつながります。
- 【自然への興味関心を高める】** ハイキングを通して、子供たちは自然の美しさや素晴らしさを肌で感じることができます。
 これは、自然への興味関心を高め、環境保護の意識を育むことにつながります。
- 【社会性の発達】** ハイキングは、家族や友人と協力して活動する協調性やコミュニケーション能力を養うことができます。
 また、リーダーシップや責任感も身につけることができます。

子供の年齢や能力に合ったコースを選び、安全に配慮しながら実施することが重要です。

音楽	項目例	療育効果
	・リズムに合わせて歌える	注意力、集中力、協調性の向上
	・歌をおぼえる	認知機能、言語能力の向上
	・人の前で歌える	自己肯定感、表現力の向上、ストレス解消

	・声が出ている	呼吸機能の向上

音楽療法は、音楽を聴いたり、演奏したり、歌ったりすることで、心身の健康を促進する療法です。
 近年、音楽療法は、子供たちの様々な発達領域に療育効果をもたらす可能性があるとして、注目されています。

【心理的な効果】 ストレスや不安を軽減し、リラックス効果をもたらします。また、自己肯定感や自信を高め、情緒的な安定を促進する。

- ・音楽を聴くと、脳内でドーパミンやセロトニンなどの神経伝達物質が分泌されます。気分を良くしたり、リラックス効果をもたらす。
- ・音楽は、自己表現やコミュニケーションの手段として活用できます。自分の気持ちを音楽で表現し、自己肯定感や自信を高める。
- ・音楽を通して仲間と協力したり、コミュニケーションを取ることで、情緒的な安定を促進することができます。

【社会的な効果】 音楽は、コミュニケーション能力や協調性を高め、社会性の発達を促進する効果があります。


- ・音楽は、集団活動のツールとして活用できます。仲間と協力したり、役割分担をすることで、協調性を高めることができます。
- ・自分の気持ちを音楽で表現することで、自己肯定感や自信を高め、社会性の発達を促進することができます。


【認知的な効果】 音楽は、集中力や記憶力、思考力を高め、認知的な発達を促進する効果があります。

- ・音楽を聴くと、脳内の血流が促進され、脳全体が活性化されます。
- ・音楽は、集中力や記憶力、思考力を高め、創造性を育む効果があることが示されています。

【言語的な効果】 音楽は、言語能力やコミュニケーション能力を高め、言語的な発達を促進する効果があります。

- ・音楽は、言葉のリズムや音韻を学ぶのに役立ちます。
- ・音楽は、コミュニケーションの手段や、自己表現の手段として活用できます。

観察	項目例	療育効果
	・散歩に出て観察物を記録する（スケッチ、写真、採取）	認知機能、探求心の向上
	・虫や動物を観察して記録する（名前や特徴）	観察力、思考力の向上

	・ 四つ葉のクローバーを見つける	集中力、忍耐力、達成感の向上
	・ 植物や昆虫図鑑などで生体を調べる	学習能力、注意力、記憶力の向上

【感覚統合の促進】 動植物の観察は、視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の五感を刺激する活動です。

様々な動植物に触れ、観察することで、感覚統合能力を向上させることができます。

- ・ 様々な色や形、大きさの動植物の観察や、動植物の動きや鳴き声、香り、感触などをじっくりと観察する。
- ・ 動植物に触ったり、匂いを嗅いだり、味見をしたりする

【集中力や観察力の向上】 動植物の観察には、集中力や観察力が必要となります。

動植物の特徴や動きなどをじっくりと観察することで、これらの能力を向上させることができます。

【知識や理解の深まり】 動植物の観察を通して、子供たちは動植物に関する知識や理解を深めることができます。

- ・ 図鑑やインターネットで調べ学習を行う
- ・ 動植物の飼育や栽培を行う

【創造性や想像力の育成】 動植物の観察を通して、子供たちは創造性や想像力を育むことができます。


- ・ 自由な発想を促す
- ・ 絵や文章で表現する
- ・ 想像力を働かせるような質問をする


【愛情や優しさの育成】 動植物の観察を通して、子供たちは動植物への愛情や優しさを育むことができます。

- ・ 動植物の世話をする
- ・ 動植物の気持ちに共感する
- ・ 動植物の大切さを伝える

【環境への興味関心の高まり】 動植物の観察を通して、子供たちは環境への興味関心を高めることができます。

- ・ 動植物の生態系について学ぶ
- ・ 環境問題について考える
- ・ 自然保護活動に参加する

水遊び	項目例	療育効果
	・ 水にさわる、入ることができる	感覚統合能力の向上、リラックス効果
	・ 水に顔をつける	恐怖心や不安の克服
	・ 水に潜ることができる	集中力、注意力の向上

	・自分で体をよく拭ける	身体意識、自立性の向上

【感覚統合の促進】 水遊びは、水の感触や温度、水の動きなどを体感することで、感覚統合能力を向上させることができます。

・様々な温度や質感の水に触れる ・水を触ったり、泡立てたり、水しぶきを浴びたりする ・水を使った遊びや工作を行う

【運動能力の向上】 水遊びは、水中で体を動かすことで、バランス感覚や筋力、持久力を高めることができます。

・水中で歩いたり、泳いだり、遊んだりする ・水を使った運動遊びを行う

【集中力や忍耐力の向上】 水遊びは、ルールを守ったり目標を達成するために努力することで、集中力や忍耐力を高めることができます。

・ルールを事前に説明する ・子供の興味に合わせた遊びを取り入れる ・小さな目標を設定し、達成を褒める


【達成感や自信を高める】 水遊びの目標を達成することで、達成感や自信を高めることができます。自己肯定感の向上にもつながります。

・子供の頑張りを認め、褒める ・無理のない目標を設定する ・小さな成功を積み重ねる

【コミュニケーション能力の向上】 水遊びは、友達と協力して遊んだりすることで、コミュニケーション能力を高めることができます。

・複数人で水遊びをする ・遊びを通してコミュニケーションを促す

水遊びは、子供たちの様々な発達領域に療育効果をもたらす可能性があります。子供の年齢や能力に合った水遊びの計画と実施が重要です。

交通・地図	項目例	療育効果
	・自宅から学校までの地図をかく	空間認知能力、記憶力、計画性の向上
	・自宅の最寄り駅・バス停を調べる	コミュニケーション、傾聴力、説明力の向上
	・近くのコンビニ等の方向や所要時間を示せる	注意力、聴解力、言語能力の向上
	・道の説明を聞いて、目的地までたどりつける	表現力、問題解決能力の向上

【言語能力の向上】 道の説明には、道順や目印などを伝える言語能力が必要です。説明を聞き、理解することで、聴解力も向上します。

- ・子供の理解度に合わせた言葉で説明する
- ・地図や写真などを活用する
- ・五感を意識した説明をする

【空間認知能力の向上】 道の説明を聞き、理解することで、空間認知能力を高めることができます。

- ・自分の位置関係を意識しながら説明する
- ・方角や距離などを具体的に説明する
- ・地図や模型などを活用する

【記憶力や注意力】 道の説明を聞き、覚えることで、記憶力や注意力を高めることができます。

- ・重要なポイントを繰り返し説明する
- ・クイズやゲームを取り入れる
- ・子供の興味を引きながら説明する

【論理的思考力】 道の説明には、道順を論理的に説明する論理的思考力が必要です。

- ・原因と結果を説明する
- ・順序立てて説明する
- ・抽象的な概念を具体例を用いて説明する

【問題解決能力】 道を説明する過程で、子供たちは道に迷った場合の解決策などを考え、問題解決能力を高めることができます。


- ・道に迷った場合の対処法を説明する
- ・質問を投げかけ、考えさせる
- ・ヒントを与える

【コミュニケーション能力】 相手とのコミュニケーションを円滑に進めるためにコミュニケーション能力を高めることができます。

- ・相手の理解度を確認しながら説明する
- ・質問に丁寧に答える
- ・相手の立場に立って説明する

【道の説明を行う際の注意点】

- ・安全面に配慮する
- ・子供のペースに合わせる
- ・無理強いしない

科学		
	・教材を使つての実験	観察力、思考力、問題解決能力
		創造性、コミュニケーション能力

発達療育において、科学実験は子どもたちの好奇心を刺激し、様々な能力を育む効果的なツールです。

実験を通して、子どもたちは以下のことを学ぶことができます。

【観察力】実験対象を注意深く観察し、変化や特徴を捉える力を養うことができます。

【思考力】実験結果を分析し、考察することで、論理的に思考する力を養うことができます。

【問題解決能力】実験で課題に直面した際、解決策を考え、試行錯誤することで、問題解決能力を養うことができます。

【創造性】実験を通して、新しいアイデアを生み出す創造性を育むことができます。

【コミュニケーション能力】実験結果を仲間と共有したり、意見交換することで、コミュニケーション能力を養うことができます。

発達障害のある子どもへの配慮


安全面に配慮する: 子どもの安全を第一に考え、適切な指導と監督が必要です。

子どもの興味を引くような実験を選ぶ: 子どもたちが興味を持った実験であれば、より積極的に取り組むことができます。

子どもたちが主体的に学ぶことができる環境を作る: 答えを教えるのではなく、子どもたちが自分で考え、発見できるようにしましょう。

実験結果を記録したり、発表したりする機会を設ける: 実験で学んだことを整理し、記憶を定着させることができます。

達成感を味わえるように: 子どもたちが達成感を味わえるように、適切なレベルの実験を設定する必要があります。

仲間	項目例	療育効果
	・友達を二人増やす（友達の名前を書く）	社会性、協調性、自尊心、自己主張の向上
	・喧嘩したら仲直りをする（ごめんねが言える、握手する）	問題解決能力、共感力、感情表現の向上
	・友達の良いところを3つほめる	自己肯定感の向上

【社会性の発達】 友達との関わりを通して、コミュニケーション能力や協調性、共感力などを高め、社会性の発達を促進します。

・友達と遊ぶ機会を増やす ・コミュニケーションの取り方を教える ・協調性や共感性を育む遊びを取り入れる

【自己肯定感の向上】 友達に受け入れられ、認められることで、自己肯定感が向上します。

・子供の良いところを褒める ・友達の良いところを真似るように促す ・友達と協力して課題を達成する

【ストレスの軽減】 友達と遊んだり、話したりすることで、ストレスを軽減することができます。

- ・友達と安心して過ごせる環境を作る
- ・友達と楽しい時間を過ごす
- ・友達に悩みを相談する

【問題解決能力の向上】 友達と協力して問題を解決することで、問題解決能力を高めることができます。

- ・友達と協力して課題を達成する
- ・自分の意見を言えるように促す
- ・友達の意見を尊重する

【自己表現の向上】 友達の前で自分の意見や気持ちを表現することで、自己表現の能力を高めることができます。

- ・自分の意見や気持ちを言えるように促す
- ・友達の意見を尊重する
- ・友達の前で発表する機会を増やす

【情緒の安定】 友達と関わることで、情緒が安定し、心の健康を促進します。


- ・友達と安心して過ごせる環境を作る
- ・友達と楽しい時間を過ごす
- ・友達に悩みを相談する

【自閉スペクトラム障害 (ASD) の子ども】

- ・友達との関わりを通して、コミュニケーション能力や社会性の発達が促されます。
- ・相手の気持ちを読み取る力を養います。

【注意欠陥多動性障害 (ADHD) の子ども】

- ・友達と遊ぶことで、集中力や忍耐力が養われます。
- ・ルールを守ることを学びます。

園芸	項目例	療育効果
	・ 種植	認知機能、情緒の安定、生きる喜び
	・ 苗植え	五感の刺激、情緒の安定、自然への関心
	・ 収穫	忍耐力、観察力、達成感、自信の向上
	・ 草花の手入れ	
	・ リース作り	
	・ 観察、記録	

【感覚統合の促進】 園芸活動は、土や植物に触れることで、触覚や嗅覚、視覚などを刺激し、感覚統合能力を向上させることができます。

- ・様々な感触の土や植物に触れる
- ・植物の香りや色、形などをじっくりと観察する
- ・触ったり、匂いを嗅いだり、味見をしたりする。

【運動能力の向上】 園芸活動は、種まきや水やり、収穫などの作業を通して、手指の運動能力やバランス感覚、筋力などを向上させます。

- ・子供の年齢や能力に合わせた作業をさせる
- ・様々な道具を使う
- ・遊びを取り入れながら運動する

【集中力や忍耐力の向上】 園芸活動は、植物の成長を待つなど、集中力や忍耐力が必要となる活動です。

- ・子供の興味に合った植物を選ぶ
- ・観察記録をつけさせる
- ・小さな目標を設定し、達成を褒める

【達成感や自信を高める】 植物を育て、収穫することで、達成感や自信を高めることができます。自己肯定感の向上にもつながります。


- ・子供の頑張りを認め、褒める
- ・無理のない目標を設定する
- ・小さな成功を積み重ねる

【コミュニケーション能力の向上】 園芸活動は、友達と協力して作業したり、植物について意見交換したりすることで、コミュニケーション能力を高めることができます。

- ・複数人で園芸活動を行う
- ・遊びを通してコミュニケーションを促す

【環境への興味関心の高まり】 園芸活動を通して、子供たちは植物の大切さや自然の美しさに気づき、環境への興味関心を高める。

- ・植物の大切さについて伝える
- ・自然の中で園芸活動を行う

演劇		
	・演劇に参加する	協調性、表現力、創造性、達成感、自己肯定感
	・台本が読める	記憶力、想像力、理解力、読解力、語学力
	・役割が理解できている	責任感、協調性、自己肯定感、社会性の発達
	・表現力がある	自己主張、表現力、自信、創造性の発達

【感情表現の促進】 演劇では、様々な感情を表現する機会があり、感情表現の幅を広げ、自己表現を促進することができます。

- ・様々な感情を表現する役柄に挑戦する
- ・感情表現の練習を行う
- ・観客の前で発表する

【コミュニケーション能力の向上】 演劇は、仲間と協力して作品を作り上げる活動です。セリフの練習や舞台上での動きを合わせることで、コミュニケーション能力を高めることができます。

- ・仲間と協力して作品作りを行う
- ・役割分担を明確にする
- ・コミュニケーションのルールを決める

【想像力や創造性の向上】 演劇は、自分の想像力や創造性を活かして、役柄やストーリーを作り上げていく活動です。

- ・自由な発想を促す
- ・様々な演劇作品に触れる
- ・創造性を発揮する機会を増やす

【集中力や記憶力の向上】 演劇は、セリフや演技を覚える必要があり、集中力や記憶力を高めることができます。

- ・子供の興味に合った演劇を選ぶ
- ・練習を積み重ねる
- ・小さな目標を設定し、達成を褒める

【達成感や自信を高める】 演劇を成功させると、達成感や自信を高めることができます。これは、自己肯定感の向上にもつながります。


- ・子供の頑張りを認め、褒める
- ・無理のない目標を設定する
- ・小さな成功を積み重ねる

【問題解決能力】 演劇は、課題を解決しながら作品を作り上げていく活動です。問題解決能力を高めることができます。

- ・課題を解決するための方法を話し合う
- ・協力して問題を解決する
- ・解決策を振り返る

【自己肯定感の向上】 演劇を通して、自分の能力や価値を認められることで、自己肯定感を高めることができます。

- ・子供の良いところを褒める
- ・友達の良いところを真似るように促す
- ・友達と協力して課題を達成する

絵画	項目例	療育効果
	・テーマに沿った絵が描ける	認知機能、手指の巧緻性の向上、創造性の発達 五感の刺激、達成感、問題解決能力、集中力 記憶力、計画性、注意力、自己肯定感の向上
	・色塗ができる	
	・絵具が使える	
	・コンクールに応募する	

【感覚統合の促進】 絵を描くことは、視覚、触覚、聴覚などの感覚を統合し、感覚統合能力を高めることができます。

- ・様々な画材や技法を用いる
- ・五感を意識しながら絵を描く
- ・自然の中で絵を描く

【運動能力の向上】 絵を描くことは、手指の巧緻性やバランス感覚、筋力などを向上させることができます。

- ・様々な画材を使う
- ・細かい作業を取り入れる
- ・大きな動きを取り入れる

【集中力や忍耐力の向上】 絵を描くことは、集中力を維持し、作品を完成させるために忍耐力が必要となる活動です。

- ・子供の興味に合ったテーマを選ぶ
- ・小さな目標を設定し、達成を褒める
- ・集中できる環境を作る

【達成感や自信を高める】 作品を完成させることで、達成感や自信を高めることができます。自己肯定感の向上にもつながります。

- ・子供の頑張りを認め、褒める
- ・無理のない目標を設定する
- ・小さな成功を積み重ねる

【コミュニケーション能力の向上】 自分の気持ちを表現したり、友達と協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力を高める。

- ・友達と協力して作品を作る
- ・絵について意見交換をする
- ・絵を通して自分の気持ちを伝える

【創造性や想像力の向上】 絵を描くことは、自分の想像力や創造性を活かして、自由に表現することができます。

- ・自由な発想を促す
- ・様々な絵画作品に触れる
- ・創造性を発揮する機会を増やす

【ストレスの軽減】 絵を描くことは、集中して取り組むことで、ストレスを軽減することができます。

- ・子供がリラックスできる環境を作る
- ・自由に絵を描く時間を設ける
- ・音楽を聴きながら絵を描く

写真	項目例	療育効果
	・綺麗に写真が撮れる	認知機能、手指の巧緻性の向上、創造性の発達
	・テーマに沿った写真が撮れる	五感の刺激、達成感、問題解決能力、集中力
	・お気に入りの写真を額にいれる	記憶力、計画性、注意力、自己肯定感の向上

コミュニケーションツールの補助

写真を使って気持ちを伝える:自閉症スペクトラム障害 (ASD) の子どもの中には、言葉で気持ちを伝えるのが難しい場合があります。

写真を使って、自分の好きなものや行きたい場所などを伝えることで、コミュニケーションを円滑にすることができます。


視覚的情報による理解促進: 言葉が苦手な子どもでも、写真を通して情報を理解しやすくなります。

記憶の定着: 写真で記録することで、出来事を鮮明に記憶することができます。

コミュニケーションの補助: 自分の気持ちや考えを写真を使って伝えることができます。

興味関心の引き出し: 子どもにとって興味のあるものを写真で示すことで、学習意欲を高めることができます。

客観的な視点の獲得: 自分の行動を写真で振り返ることで、客観的に分析することができます。

書道	項目例	療育効果
	・ 書道用具を覚える	記憶力、思考力、言語能力、分類能力の向上
	・ 筆の正しい持ち方ができる	指先の力、巧緻性、手指の協調性、集中力、持続力
	・ 書道をする時の姿勢ができています	身体機能、持続力の向上、情緒の安定
	・ テーマに沿った字が書ける	計画性、達成感の向上

【集中力の向上】 書道は、筆遣い、姿勢、呼吸などに意識を集中する必要があるため、集中力・注意力・記憶力の向上に効果的です。一筆一筆丁寧に書くことで自然と集中力が高まり、雑念を払うことができます。また、字形や筆順を覚えることで記憶力も鍛えられます。

- ・ 集中力が持続しないお子様の場合、短い時間から始めて徐々に時間を延ばしていくことで、集中力を高めることができます。
- ・ 漢字の書き順を覚えることで、記憶力と同時に、書字能力も向上させることができます。

【精神安定・リラックス効果】 書道は、墨の香りに包まれながら、静かな環境で集中して取り組むため、精神安定・リラックス効果が期待できます。書道を通して、心を落ち着かせ、ストレスを解消することができます。

- ・ ストレスを感じている方の場合、ゆっくりと丁寧に書くことで、心を落ち着かせることができます。
- ・ 書道を通して、自分の内面を表現することで、心の安定につながります。

【手指の巧緻性・運動能力の向上】 書道は、筆を正しく持ち、細かい筆遣いを操る必要があるため、手指の巧緻性・運動能力の向上に効果的です。特に、筆圧の調整や筆先の動きをコントロールすることで、手指の細かい筋肉を鍛えることができます。


- ・ 手指の巧緻性が低いお子様の場合、太筆から始めて徐々に細い筆に移行することで、手指の筋肉を鍛えることができます。
- ・ 正しい姿勢で書くことで、体幹を鍛え、姿勢改善にもつながります。

【五感の統合】 五感（視覚、触覚、聴覚、嗅覚、運動感覚）を統合することで、脳の発達を促し、様々な能力を高めることができます。

- ・ 五感を統合することで、脳の発達を促し、集中力や記憶力、運動能力などの向上につながります。

【自己肯定感・自信の向上】 書道は、自分のペースで取り組むことができ、作品を完成させたときの達成感は格別です。作品を通して自己表現することで、自己肯定感や自信を高めることができます。

- ・ 作品を完成させたときの達成感は、自己肯定感や自信を高める効果があります。

工作	項目例	療育効果
	・ちぎり絵の作成	手指の巧緻性の発達、集中力、創造性の向上
	・お面の作成	問題解決能力、協調性、コミュニケーション能力向上
	・飛び出すカード作成	
	・紙粘土で作品作り	

【集中力】 工作に集中することで、集中力が養われます。

【創造性】 自由に作品を作っていくことで、創造性が育まれます。

【問題解決能力】 工作課題を解決するために、問題解決能力を働かせることができます。

【協調性】 複数人で協力して作品を作ることで、協調性が養われます。

コミュニケーション能力: 作品について話し合ったり、意見交換したりすることで、コミュニケーション能力を高めることができます。

工作の種類

自由工作: 子どもが自由に好きなものを作り、創造性を発揮することができます。

課題工作: あるテーマに沿って課題を与え、問題解決能力を養うことができます。


協働工作: 複数人で協力して作品を作ることで、協調性やコミュニケーション能力を高めることができます。

工作を通して発達療育を行う際の注意点

安全面に配慮する: 工作をする際には、安全面に十分配慮する必要があります。

子どものペースに合わせる: 子どものペースに合わせ、焦らずゆっくりと進めることが大切です。

無理強いしない: 子どもが嫌がっている場合は、無理強いせずにやめさせてあげましょう。

避難訓練	項目例	療育効果
	・ 避難訓練に参加する	安全意識、行動力、コミュニケーション能力
	・ 避難方法の練習	身体機能、社会性、自己肯定感の向上
	・ 避難経路の確認	命を守るための知識とスキルを身に付ける
	・ 防災情報の理解	
	・ 安全な場所の確認	

発達障害のある子どもたちにとって、災害時の避難は特に困難な状況となる場合があります。発達療育における避難訓練は、そのような子どもたちが災害時に安全に行動できるように、必要な知識やスキルを身につけることを目的としています。

避難訓練の重要性

命を守るための知識とスキルを身につける: 災害時にどのように行動すれば良いのかを知り、適切な行動を取ることができるようにします。

不安や恐怖を軽減する: 避難訓練を繰り返し行うことで、災害に対する不安や恐怖を軽減することができます。

自信をつける: 避難訓練を成功させることで、子どもたちは自信をつけることができます。

周囲の人との協調性を育む: 集団での避難訓練を通して、周囲の人との協調性を育むことができます。


発達障害のある子どもへの配慮


個別の支援: 子どもたちの個々の特性やニーズに合わせた個別支援が必要です。

わかりやすい説明: 子どもたちが理解しやすいように、わかりやすく説明する必要があります。

繰り返し練習: 子どもたちは理解するまでに時間がかかる場合があるため、繰り返し練習する必要があります。

不安や恐怖への対応: 子どもたちの不安や恐怖に寄り添い、適切な対応をする必要があります。

環境衛生		
	・ おもちゃを片付ける	集中力、記憶力、思考力、計画性、問題解決能力

	・道端のごみを10個以上拾う	達成感、自立心、責任感、自己肯定感の向上 生活習慣の改善
	・部屋の掃除をする	
	・自分の荷物を整理整頓できる	
	・感染症の予防	


発達療育の現場で、ゴミ拾いが取り入れられることがあります。ゴミ拾いは子どもたちの発達を促す上で様々な効果が期待できる活動です。


ゴミ拾いがもたらす効果

- 社会性・協調性の育成:** グループで活動することで、周りの人と協力することの大切さを学びます。
- 責任感の育成:** 自分たちの生活空間をきれいに保つという責任感を育みます。
- 自然への関心:** 自然環境に対する関心を高め、環境問題について考えるきっかけになります。
- 五感を刺激:** ゴミの種類や質感、においなどを五感で感じ取り、感覚統合を促します。
- 達成感:** ゴミを拾うことで、達成感や自己肯定感を味わうことができます。
- 運動能力の向上:** 歩き回ったり、しゃがんだりする動作を通して、身体を動かす機会が増えます。
- 集中力・持続性の向上:** ゴミ拾いに集中することで、集中力や持続性を高めることができます。

ゴミ拾いをより効果的に行うための工夫

- テーマを設定する:** 例えば、「海の生き物のためにプラスチックゴミを拾おう」など、テーマを設定することで、子どもたちの興味を引きつけ、学習効果を感じさせることができます。
- ゲーム感覚を取り入れる:** ゴミ拾いをゲームのようにすることで、子どもたちが楽しみながら活動に参加できます。
- 記録を残す:** 拾ったゴミの種類や量を記録することで、子どもたちは自分の活動成果を視覚的に確認することができます。
- 地域貢献:** 地域の清掃活動に参加することで、地域社会の一員としての意識を高めることができます。

コンピューター	項目例	療育効果
	・電源のオンオフができる	認知機能の向上、学習意欲の向上
	・ネットで検索する	自己肯定感の向上、社会性の向上

	・プリンターを使って印刷する	
	・メールやチャットを使う	
	・タイピングができる	

【認知機能の向上】 ゲームやパズルなどを通して、記憶力、注意力、論理的思考力などの認知機能を向上させることができます。

【コミュニケーション能力の向上】 メールやチャットなどのツールを使って、コミュニケーション能力を向上させることができます。

【学習意欲の向上】 興味のある分野をパソコンで学習することで、学習意欲を高めることができます。

【自己肯定感の向上】 パソコンを使って作品を作ったり課題をクリアしたりすることで、自己肯定感の向上につなげることができます。


【社会性の向上】 オンラインゲームやSNSを通して、社会性を向上させることができます。

【パソコン療育の注意点】

長時間使用は避ける: 長時間のパソコン使用は、視力低下や運動不足などの問題を引き起こす可能性があるため、時間を制限して使用することが大切です。

適切なコンテンツを選ぶ: 子どもたちの年齢や発達段階に合った、適切なコンテンツを選ぶことが大切です。

インターネットの利用: インターネットを利用する際には、フィルタリングソフトなどを活用して、有害な情報から子どもたちを守る必要があります。姿勢: 正しい姿勢でパソコンを使うように指導する必要があります。

洗濯		
	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯バサミを使う ・洗濯物の種類分け ・洗濯機の使い方 ・洗濯物の干し方 ・洗濯物のたたみ方 	<p>手先の巧緻性を向上</p> <p>分類能力を向上</p> <p>生活スキルを身につける</p> <p>手先の巧緻性と空間認識能力を向上</p> <p>集中力と空間認識能力を向上</p>


【**手先の巧緻性の向上**】 洗濯物は様々な形や素材で作られており、洗濯バサミでつまんだり、ハンガーにかけたりする動作は、手先の巧緻性を向上させるのに役立ちます。特に、指先の細かい動きが必要となるため、発達障害のある子供にとっても効果的です。

【**生活スキルの習得**】 洗濯は、日常生活に必要な生活スキルの一つです。洗濯を通して、洗濯物の種類や洗濯方法を学んだり、洗濯機の操作方法を身につけたりすることができます。これらのスキルは、将来の自立生活にも役立ちます。

【**達成感の獲得**】 洗濯物を洗濯し、干して、たたんでしまうという一連の作業を最後までやり遂げることで、達成感を得ることができます。これは、自信を高め、自己肯定感を育むのに効果的です。

【**集中力の向上**】 洗濯には、ある程度の集中力が必要です。洗濯物を一枚ずつ丁寧に洗ったり、干したりする作業を通して、集中力を高めることができます。

【**コミュニケーション能力の向上**】 洗濯を家族と一緒にしたり、洗濯に関する指示を聞いたりすることで、コミュニケーション能力を向上させることができます。

計測	項目例	療育効果
	・ 重さを比べられる	認知能力、論理的思考能力の向上
	・ 軽量器を使わずに重さを計る（20%の誤差）	感覚統合能力、空間認知能力の向上
	・ 10mの距離を歩測する（50cmの誤差）	視覚認知能力、記憶力、注意力の向上
	・ 時計を使わず10秒数える（1秒誤差）	時間間隔、集中力の向上

【**計測能力の向上**】 発達障害のある子どもたちの発達療育において、計測能力は様々な場面で役立ちます。計測能力を鍛えることで子供たちは以下のことができるようになります。

【**自分の体の動きや変化を認識する**】 運動機能や感覚機能の発達を促進することができます。

【**物の大きさや量を理解する**】 認知機能や学習能力の発達を促進することができます。

【時間や順番を理解する】 生活習慣や社会性を向上させることができます。

【目標を設定し、達成する】 自尊心や自信を高めることができます。


発達障害のある子どもへの配慮

個々の特性に合わせた指導: 子どもたちの個々の特性やニーズに合わせた指導が必要です。

スモールステップで指導: いきなり難しい課題を与えるのではなく、スモールステップで段階的に指導する必要があります。

達成感を味わえるように: 子どもたちが達成感を味わえるように、適切なレベルの課題を設定する必要があります。

ポジティブな声かけ: 子どもたちが努力することを、ポジティブに声かけしましょう。

天体	項目例	療育効果
	<ul style="list-style-type: none">・北極星を見つける・星座の形と名前を5つ覚える・惑星を覚える・プラネタリウムで天体観察	集中力、観察力、想像力、創造力 論理的思考、コミュニケーション能力 協調性

天体発達療育とは、宇宙や星、天体観測を通して、発達に課題のある子どもの様々な能力を育む療育方法です。

また、天体発達療育を通して、子どもたちは宇宙の広大さや神秘さを体感し、自然への興味関心を高めることができます。これは、子どもたちの心を豊かにし、健全な人格形成に役立つと考えられています。

発達療育における天体観測

天体観測は、発達療育に役立つ有効な手段の一つとして注目されています。宇宙の広大さや神秘さを体感することで、子どもたちの好奇心や探究心を育むことができます。また、天体望遠鏡を使って星座を観察したり、プラネタリウムで星空を眺めたりすることで、集中力や観察力も高まります。さらに、天体観測は、親子や友人同士で一緒に楽しめるアクティビティでもあります。

共同作業を通して、コミュニケーション能力や協調性を養うこともできます。

昆虫採取	項目例	療育効果
	・ 昆虫の生態を調べる	五感の刺激、観察力、探索力の向上
	・ 目的の昆虫を捕まえる	集中力、達成感、運動能力の向上
	・ 捕まえた昆虫を飼育する	自然への興味、コミュニケーション能力の向上
	・ 色々な昆虫の名前を覚える	計画性
	・ 昆虫採集のトラップを作る	

近年、発達療育における昆虫採取が注目されています。昆虫採取は、ただ虫を捕まえるだけでなく、様々な療育効果が期待できます。

具体的な療育効果

【五感の刺激】昆虫は、様々な形、色、動きをしています。昆虫採取を通して、子どもたちは視覚、聴覚、触覚などの五感を刺激することができます。

【観察力・探索力】昆虫はどこにいるのか、どのようにすれば捕まえられるのかを考え、観察したり、探索したりすることで、観察力や探索力を育むことができます。

【集中力】昆虫を見つけて捕まえるためには、集中力が必要です。昆虫採取を通して、集中力を高めることができます。

【達成感】目的の昆虫を捕まえることができた時の達成感は、子どもの自信につながります。

【自然への興味】昆虫を通して、自然に興味を持つことができます。

【コミュニケーション】他の子供たちと協力して昆虫を捕まえたり、捕まえた昆虫について情報を共有したりすることで、コミュニケーション能力を高めることができます。

【運動】昆虫を捕まえるために、歩き回ったり、しゃがんだり、登ったりすることで、運動能力を高めることができます。

「昆虫採取は、発達療育における貴重な経験となる。五感を刺激し、観察力や探索力、集中力などを育むことができる。」

「安全面に十分注意し、自然環境を保護しながら、昆虫採取を楽しむことが大切である。」

「昆虫採取を通して、子どもたちの自然への興味や関心を高めることができる。」

魚釣り		
	・ 目的の魚の餌を調べる	集中力の向上、忍耐力の育成、観察力の育成
	・ 魚釣りに必要な道具を覚える	達成感の獲得、協調性、自然とのふれあい
	・ 釣り糸の結び方を覚える	運動能力の向上
	・ 釣り針にえさを付ける	

集中力の向上: 釣り中は、浮きや魚の動きに集中するため、自然と集中力が養われます。

忍耐力の育成: 魚が釣れるまで待つことで、忍耐力や待つことの大切さを学びます。

観察力の育成: 魚の動きや周りの環境を観察することで、観察力が養われます。

達成感の獲得: 自ら釣り上げた魚は、子どもたちに大きな達成感を与えます。

協調性・コミュニケーション能力の向上: グループで釣りを行うことで、周りの人と協力し、コミュニケーションを取る機会が増えます。

自然との触れ合い: 自然の中で過ごすことで、五感を刺激し、心身のリラックス効果が期待できます。

運動能力の向上: 釣りの準備や片付けなど、様々な動作を通して、運動能力が向上します

魚釣りをより効果的に行うための工夫

目標設定: 「今日は何匹釣れるかな？」など、具体的な目標を設定することで、子どもたちのモチベーションを維持できます。

道具の準備: 釣竿の長さやリールの種類など、子どもたちの年齢や体力に合わせて道具を選びましょう。

補助: 釣りの技術が未熟な子どもには、大人や先輩が補助を行いましょう。

記録: 釣った魚の数を記録したり、絵を描いたりすることで、子どもたちの記憶に残ります。

料理		
----	--	--

	・料理する材料を調べる	感覚の発達、運動の発達、 認知の発達、自立心の育成 社会性、コミュニケーション能力の向上
	・調味料を覚える、調べる	
	・材料を適切な大きさに切る	
	・分量を計る	
	・料理の工程を覚える	
	・完成した料理をみんなで食べる	

発達療育と料理：食事を通して成長を促す

発達療育の現場では、食事を通して子どもの成長を促すことがよく行われます。料理は、単なる食事の用意だけでなく、様々な発達領域を刺激し、子ども

料理がもたらす発達への効果

- 感覚の発達:** 食材の色、形、触感、匂い、味を五感で体験することで、感覚の統合を促します。
- 運動の発達:** 包丁の使い方、食材の切り方、混ぜる動作など、細かい手先の動きや協調性を養います。
- 認知の発達:** レシピを理解し、手順を踏んで作業を進めることで、計画性や問題解決能力を育みます。
- 社会性・コミュニケーション能力の発達:** 家族や他の参加者と協力し、コミュニケーションを取りながら料理をすることで、社会性や協調性を育みます
- 自立心の育成:** 自分自身で料理の工程をこなし、完成させることで、達成感や自信につながります。

発達段階に合わせた取り組み

子どもの発達段階に合わせて、料理の内容やサポートの仕方を調整することが大切です。

- 幼児期:** 簡単な食材の切り方、混ぜ方、形作りなどを遊び感覚で行います。
- 学童期:** レシピを見ながら料理を進める練習や、火を使う料理に挑戦します。
- 思春期:** メニューの計画や買い物、調理の全般を自分自身で行うことを目指します。

買い物		
	買い物リストを作る	社会性、自立心、計画性の向上

	お金の計算が出来るようになる	認知能力を養う、生活技能の習得
	予算内で買い物をする	コミュニケーション、判断能力を養う
	買い物リストを使って自分で商品を選べる	
	値段や品質などの比較ができる	

社会性と自立心を育む

発達療育における買い物は、単なる日用品の購入だけでなく、子どもたちの社会性、自立心、そして生活技能を育む上で非常に重要な活動です。スーパー

買い物がもたらす発達への効果

社会性: 人とのコミュニケーション、順番を守る、レジでの対応など、社会生活に必要なスキルを身につけることができます。

自立心: 欲しいものを自分で選び、お金の計算をするなど、自立心を育みます。

認知能力: 商品の値段を比較したり、必要なものをリストアップしたりするなど、計画性や判断力を養います。

生活技能: 買い物リストの作成、お金の扱い方、商品の選び方など、日常生活に必要なスキルを習得します。

発達段階に合わせた取り組み

子どもの発達段階に合わせて、買い物の内容やサポートの仕方を調整することが大切です。

幼児期: お気に入りのキャラクターグッズを選んだり、簡単な買い物ゲームをしたりします。

学童期: 買い物リストを作成し、自分で商品を選べるようにサポートします。

思春期: 予算内で買い物をする練習や、自分で計画を立てて買い物に行くことを目指します。

-マーケットやお店での買い物の経験を通して、子どもたちは様々なことを学び、成長していきます。